市報 にいがた

昭和47年3月30日発行

毎月3回5・15・25日発行 定価1部3円 (昭和30年9月20日 第三種郵便物認可)

発行所 新潟市役所 新潟市西堀通6番町866 電話 代表(28)1000
編集人 本間高明
印刷所 (株)新潟日報事業社 (A)

交通安全特集号

スクールゾーン 標識を千二百本 ことしも通園通学路を整備

子供の交通安全を図るための対策として、市では通園通学路の交通環境づくりを五カ年計画を立て進めています。四十七年度も歩道やガードレール、標識などの設置工事が行なわれます。

一方、今展開されている春の交通安全運動を機会に、新しくスクールゾーンの設置にも着手し、子供の交通安全の確保を一層充実していきます。

四十七年度に行なわれる通園通学路の整備は次のとおりです。

歩道の新設は濁川小学校周辺の七十㍍、幅員一㍍五十㌢、新潟小学校周辺百㍍、幅員一㍍五十㌢。

歩道の舗装は米山の六百㍍、幅員二㍍。ガードレールの設置は市内一円の通園通学路四百七十㍍。

道路標識の設置は市内一円の通園通学路に千百六十本。区画線の設置は市内一円の通園通学路に九千㍍。

そのほか市内一円の通園通学路十二カ所の改良が進められます。

スクールゾーンの設定は、今後市内の四十九小学校全校を対象に順次着手してゆくことになりますが、この運動期間中には九校が設定されました。

このスクールゾーンとは小学校の半径五百㍍の区域をスクールゾーンと決め、交通規制や交通安全施設の整備補修、交通安全の指導活動を積極的に行なおうというものです。

まず中央署管内では、鏡淵小学校周辺をモデル・スクールゾーンとして車両通行止め、一方通行、駐車禁止などの交通規制をする一方指導や取り締まりを行なってゆくことになります。

東署管内では、鳥屋野小、女池小、木戸小、上所小、長潟小、桃山小、長嶺小の七カ校。

西署では四月開校する真砂小がこのほど指定されました。

市では、スクールゾーンの標識を、このほど設定された校区をはじめ四十九校全部を対象に千二百本を四月五日までに設置してゆくことになっています。

取り付けられる場所は、現在設置してある通園通学路標識の下で、たて十五㌢、よこ三十㌢の鉄板にスクールゾーンと書かれた標識です。

鏡淵小校区の通学路

交通事故から僕らを守って!

新潟市では，子供の交通安全を守るため小学校や幼稚園，保育園を対象に女子交通指導員による交通安全教室を行なっています。信号機や標識などセットして交通ルールを教えたり，入学前には通園通学路を使って実地指導もやっています。今後市では実施計画をたて積極的に交通教室を開いてゆきます。

写真は交通教室で熱心に交通ルールを身につける山ノ下保育園の子供たち。

新入園・入学児を守る 4月15日まで 春の全国交通安全運動

新入学・入園児などをはじめ子供たちの交通安全を中心とした春の全国交通安全運動がさる十六日から展開されています。期間中には、子供やお年寄りの交通安全教室や道路パトロールなどいろいろな活動が行なわれますが、特にこの運動を機に小学校、幼稚園、保育園周辺を「スクールゾーン」と定め、安全な交通環境づくりを進めていきます。

お母さんといつも一緒だった子供たちは新学期には一人立ちをしなければなりません。学校へ通うときも遊ぶときにも交通事故の危険にさらされています。市民ぐるみで、子供たちを悲惨な事故から守ってやりましょう。

子供の交通教室

通学路は実地に

新学期を前にして、子供たちが活動する範囲を安全に通行できるよう、身につけさせることは新入学(園)児を持つお母さん方の役目です。少なくとも次のことを教えてあげてください。

◙学校のいきかえりは、決められた通学路を正しく通るよう一緒に通って教える。

◙歩道のないところは道路の右端を安全に通る。

◙最少限、通学路にある標識は教える。

◙道路を横断するときは、遠回りでも横断歩道や歩道橋を渡る。

◙横断歩道のない道路を横断するときは、車に向かって手を上げ車の止まるのを確認してから横断する。

◙車の直前、直後の横断はさける。

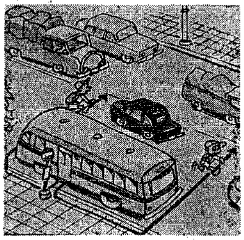
◙友だちとふざけた歩き方や道幅いっぱいに歩かない。

◙雨ふりどきは、雨具のため視界が悪くなり、そのうえ車がスリップするので特に注意する。

◙子供たちのもっとも多い交通事故は道路へのとび出しです。忘れ物などないように心のゆとりをもたせる。

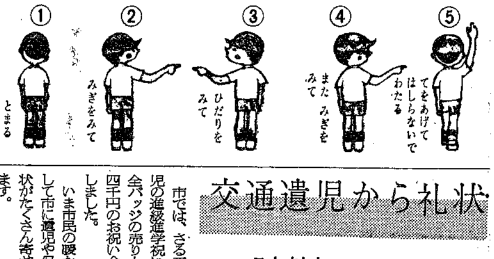
◀道路標識をおぼえましょう

▼あぶない車の直前・直後の横断

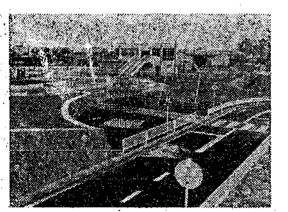


▶横断歩道は手を上げて

▼道を横断ずるときはこのように



鳥屋野交通公園 5月5日オープン



遊びながら交通マナーが覚えられる交通公園が、鳥屋野運動公園内のラグビー場わきにほぼ完成しました。工事はあと植樹を残すばかりで、五月五日の「子供の日」にオープンします。

広さは一万四千平方㍍で、園内にはゴーカートが走り回る舗装道が七百㍍あり、それが高架になっています。また、横断歩道をはじめ本物そっくりの交差点や信号機、交通標語などもあります。

そのほかに、ブランコやジャングルジムなどの遊具があり、木や花も植えられます。

この交通公園は激増する交通事故から子供を守るために、交通マナーを遊びながら楽しく覚えてもらおうというもので県内では初めての施設です。

なお、交通公園のバスの便は蓮潟女子高校行きをご利用ください。駅からご利用の方はターミナルで、古町からは、東映パラス前か、市役所前からどうぞ。終点で降りるとすぐ近くにあります。

交通遺児から礼状

これ以上 遺児を出さないで

市では、さる三月三日交通遺児の進級進学祝いとして交通安全バッジの売り上げ金から一人四千円のお祝い金をプレゼントしました。

いま市民の暖かい心ざしに対して市に遺児や保護者からの礼状がたくさん寄せられてきています。

その一つを紹介します。

このたびは、あたたかいお心ずくしのお金をたくさんいただきまして、ほんとうにありがとうございました。

おとうさんは、わたしが生まれて三カ月目にこうつうじこでなくなりました。

わたしは、先生がたやおかあさんの言うことをよくきいていっしょうけんめいべんきょうをして、りっぱな人げんになるように、がんばります。

ほんとうにありがとうございました。

小学校三年 大野友子

なお、市では四月の下旬に交通遺児とその保護者から春の一日を楽しく過ごしてもらおうと月岡ヘルスセンターの動物園へ招待することになっています。